

宮崎発夢未来～感動の共感を世界中に

みやざき中央新聞

〒880-0911 宮崎県宮崎市田吉6207-3 info@miya-chu.jp Tel(0985)53-2600 Fax(0985)53-5800

毎週月曜日(第5月曜日は除く)、月4回発行/1か月1,080円(税・送料込)

11月19日(月)

2018年(平成30年)

2766号

1面
2面記事

村上 憲郎さん.....どこまで進化するインターネット～No. 1
 コラム・小早祥一郎さん.....「俺たちがやるしかない」～No. 7
 門田 隆将さん.....新聞・雑誌 ジャーナリズムの舞台裏～No. 3
 高野 登さん.....To The NEXT STAGE～No. 4(終)
 柴原 薫さん.....木こりの誇り～No. 2
 「転載・過去・未来」.....工藤直子さん「とうとうやるしに」～No. 96
 取材ノート.....山本孝弘「靴下のプレゼント」

毎回、清掃の「計画書」まで作り、いつ、誰がどこをやるのか、細かく分担されています。

もちろん、見に来る方の中には「近いうちに家を建てようかなあ」と考えている人たちが少なからずいると思います。その人たちがこの現場を見ると「この会社じゃなきゃ嫌」とまで思ってしまうのです。そうして、この会社は口コミでどんどん伸びていっています。売り上げもどんどん上がっています。

でもこの会社は床を徹底的にきれいにし、配線や材料も上のほうに上げ、引っかかりつまずいたりすることがないようにしています。

結果、現場がきれいなので近所中の評判になりました。「いつでも誰でも見に来てください」と公開していることもあり、多くの人が現場に来ますが、皆さんびつくりされます。



楽しく改革！ そうじの力

株式会社そうじの力 代表取締役

小早 祥一郎

Kohaya Shoichiro

今回は東京の工務店を紹介いたします。この会社は「東京一きれいな会社を目指そう」ということで掃除の取り組みを進めることになりました。

その指標として「素足で歩ける現場にしよう」と決めました。建築に関連するお仕事をされている方、あるいはご自宅を建てられた方は分かると思います。

「俺たちがやるしかない」

それから、早朝に近隣のごみ拾いや清掃もしています。これは希望者のみで強制はしません。約1時間の清掃をする間、ご近所のおばちゃん「いつも悪いねえ」と声をかけてくれます。そのおかげか、近所の方からもよく注文があるそうです。



掃除を通してこの会社は確実によくなっています。実はこの社長が大きな事故に遭われ、1年半にわたって不在の時期がありました。

30人弱の会社ですから、社長が1年半も不在だと厳しい状況に追い込まれるでしょう。ある社員さんも取引先から「残念だけどおたくの会社、つぶれると思うよ」と言われたそうです。

でも、残された社員さんたちは「俺たちがやるしかない」と一生懸命頑張りました。結果として社長さんが不在の間に過去最高の売り上げと過去最高益を上げたそうです。社長も今は元気になり、復帰されています。

どうしてこういう結果になったのか？この会社の方がおっしゃるには「やっぱり掃除でした」。

小さな会社では、いつ、誰が何をどうするといったような計画を立てて実践することが難しいこともあります。でも掃除を通して、彼らはそれを訓練してきたのです。

そして近所を掃除する取り組みを通して、社員さんの自発性や自主性が養われたのだと思います。掃除が会社の危機を乗り越える力をくれたというエピソードです。

(伊丹商工会議所主催の講演会より)